

中川船番所資料館

特別展「江戸の暮らしと江東の漁業」



中川船番所資料館では、11月8日から特別展「江戸の暮らしと江東の漁業」を開催しています。

毎年、地域の歴史に焦点を当てて特別展を実施しており、2021年度には「水害と江東」、2022年度には「江東の農業」、今年度は「江東の漁業」を取り上げました。

江東の地で漁業が発展したのは、徳川家康によって、大阪佃村から佃島の漁師が江戸に呼び寄せられ「深川(富岡八幡宮)」に土地(佃町)を与えられたことと、深川猟師町が8人の漁師によって開発され深川沖の遠浅の海岸で漁を営んだことからと言われています。こうして誕生した江戸・江東の漁業のようすを浮き彫りにし、それらが江戸の暮らしにどのような影響を与えていたのかを紹介しています。

また、昨年度に、江東区の有形民俗文化財に登録された「貝漁(かいりょう)及び鰻漁(うなぎりょう)関連資料」9点の原物展示もあわせて行っています。

【会期】 2023年11月8日(水)～2024年5月12日(日)  
9:30～17:00(入館は16:30まで) 毎週月曜休館(祝日の場合は開館)  
(年末年始休館 12月29日～1月3日)

【会場】 中川船番所資料館 2階展示室  
(都営地下鉄新宿線「東大島駅」大島口より徒歩5分)

【観覧料】大人 200円 小・中学生 50円

【問合せ】中川船番所資料館 担当:上村

江東区大島 9-1-15 電話:03-3636-9091

【主催】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 中川船番所資料館

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱いいただきたく、情報をご案内させていただきます。取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団  
管理課広報担当:村田、伊藤 TEL.03-3644-8119